



「平成29年「賃金構造基本統計調査(初任給)」の結果」

～ 男女計の初任給は、全ての学歴で4年連続の増加 ～

厚生労働省が平成29年「賃金構造基本統計調査(初任給)」の結果を取りまとめ公表しました。

「賃金構造基本統計調査」は、全国の主要産業に雇用される労働者の賃金の実態を、雇用形態、就業形態、職種、性、年齢、学歴、勤続年数、経験年数別等に明らかにすることを目的として、毎年7月に実施しています。

今回は、新規学卒者の平成29年初任給(6月分)についての結果で、調査客体として抽出された10人以上の常用労働者を雇用する民間の事業所のうち、有効回答を得た事業所の中で新規学卒者を採用した15,903事業所を対象に、初任給が確定している15,378事業所について集計したものです。

それでは結果の概要です。

1 学歴別にみた初任給

男女計の初任給は、全ての学歴で前年を上回り、大学卒、高専・短大卒、高校卒においては過去最高だった昨年を更新しました。

男女計	大学院修士課程修了	233.4千円	(対前年増減率 0.9%)
	大学卒	206.1千円	(" 1.3%)
	高専・短大卒	179.2千円	(" 1.3%)
	高校卒	162.1千円	(" 0.5%)
男性	大学院修士課程修了	233.6千円	(対前年増減率 0.8%)
	大学卒	207.8千円	(" 0.9%)
	高専・短大卒	180.6千円	(" 0.5%)
	高校卒	164.2千円	(" 0.4%)
女性	大学院修士課程修了	232.4千円	(対前年増減率 1.2%)
	大学卒	204.1千円	(" 2.1%)
	高専・短大卒	178.4千円	(" 1.8%)
	高校卒	158.4千円	(" 0.8%)

2 企業規模別にみた初任給

大学卒では、男女計、男女別ともに大企業(常用労働者1,000人以上)、中企業(同100～999人)及び小企業(同10～99人)の全ての企業規模において前年を上回りました。また、高校卒では、前年と同額だった大企業の男性を除き、男女計、男女別ともに全ての企業規模において前年を上回りました。初任給の企業規模間格差(大企業=100)をみると、大学卒では、中企業、小企業ともに男女で、それぞれ前年に比べ格差が拡大しているが、高校卒では、中企業、小企業ともに男女で、それぞれ前年に比べ大企業との格差が縮小しています。

男女計	大企業	中企業	小企業
大学卒	211,000円(前年比2.0%増)	202,500千円(同0.7%増)	199,600円(同0.3%増)
高校卒	164,000円(前年比0.1%増)	160,700千円(同0.7%増)	162,300円(同0.7%増)

3 産業別にみた初任給

大学卒では、男性は「学術研究, 専門・技術サービス業」(217.0千円)、「情報通信業」(214.3千円)、女性は「情報通信業」(216.4千円)、「学術研究, 専門・技術サービス業」(210.0千円)が高くなっており、高校卒では、男性は「建設業」(171.0千円)、「学術研究, 専門・技術サービス業」(168.4千円)、女性は「情報通信業」(165.6千円)、「建設業」(162.1千円)が高くなっています。

4 学歴別にみた初任給の分布

初任給の分布を学歴別にみると、大学卒では、男女ともに20万円台が最も多く、それぞれ32.6%、26.4%となっています。

高校卒では、男女ともに16万円台が最も多く、それぞれ46.0%、30.8%となっています。

如何でしょうか? 思っていたより、高かったか低かったか、ふむ、妥当な額だとか。

今回は、新規学卒者でしたが、今は中途入社も多いですし、求人では「売り手市場」とも言われています。是非ご参考に!!